

株式会社ジャックス

証券コード：8584

未来にタネをまこう。

JACCS



株主通信

第84期報告書

平成26年4月1日～平成27年3月31日



株主のみなさまへ

新中期経営計画「ACT-Σ」(アクト・シグマ)のもと、
日本を代表する先進的な
コンシューマーファイナンス
カンパニーを目指してまいります。

取締役社長 板垣康義



■ 平成27年3月期の経営環境と連結業績

第84期(平成27年3月期)の消費者信用産業は、少子高齢化や関連業法による規制強化など厳しい環境下にある一方で、EC市場の拡大に伴うカード決済の増加により全体としては緩やかな拡大基調を辿りました。

こうした状況の中、当社グループは最終年度を迎えた第11次中期3カ年経営計画「ACT11」(アクト・イレブン)の総仕上げとして、既存3事業(クレジット事業、カード事業、ファイナンス事業)の活性化と新事業の収益拡大、ならびに海外事業の伸展に総力を挙げて取り組みました。

この結果、当期の連結営業収益は1,082億円(前期比4.0%増)となり、「ACT11」の至上命題であった「トップラインの反転拡大」を成し遂げることができました。

■ 当期の主要な施策と成果

既存事業では、提携カードの発行強化やWeb化推進などの諸施策を通じて、事業の活性化に注力しました。新事業では、平成26年4月に信販会社では初となる後払い決済サービス「ATODENE(アトディーネ)」をリリースするなど新たな収益源の創出に取り組みました。

海外事業については、平成22年に事業を開始したベトナムにおいて、ハノイを中心とした北部地域への事業拡大を図り、平成26年12月決算で黒字化を達成しました。

業容の拡大と経営体質の強化が一段と進展した実り多い1年であったと振り返っています。

■ 新中期経営計画「ACT-Σ」について

本年3月に終了した「ACT11」では、当社が目指すべき中長期ビジョンとして「日本を代表する先進的な消費者金融ファイナンスカンパニー」を掲げ、ビジネスモデルの改革に取り組みました。その結果、7期ぶりにトップラインの反転拡大を実現するとともに、債権良質化などの取り組みを通じて環境変化に耐えうる強靱な経営体制を確立することができました。

この成果を受けて本年4月にスタートしましたのが、第12次中期3カ年経営計画「ACT-Σ」(アクト・シグマ)です。「ACT-Σ」では、前中期経営計画の中長期ビジョンを継承しつつ、「グループシナジー」「先進性」「CSR」を重点方針とする経営戦略の実行によって成長軌道をより確かなものとしてまいります。計数面では最終年度の平成30年3月期には、営業収益1,364億円、自己資本利益率(ROE)9%以上を目標に設定しました。

■ 平成28年3月期の経営方針と株主還元

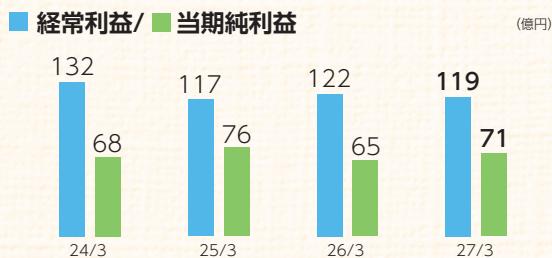
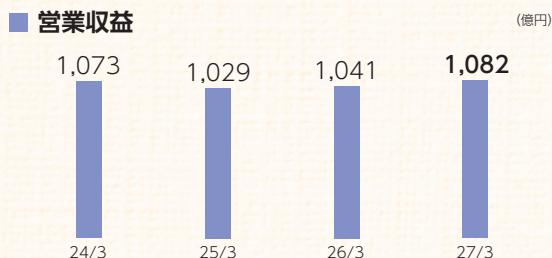
第85期(平成28年3月期)につきましては、グループシナジーによる収益基盤の拡充、経営資源の戦略的活用による先進性の追求、高度なCSRの実践という「ACT-Σ」の重点方針を着実に遂行することにより、連結営業収益1,148億円、連結経常利益135億円、ROE6.5%~7.0%以上を目指してまいります。

株主のみなさまへの利益還元につきましては、安定的な配当の継続と株主価値の最大化に努めてまいります。

株主のみなさまには、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

■ 当期の決算ポイント

1. 取扱高はオートローン、カードショッピングが牽引し順調に推移
2. トップラインの拡大が伸長
3. 営業費用の増加により経常利益は減少



新中期経営計画「ACT-Σ」が始動！

(2016年(平成28年)3月期～2018年(平成30年)3月期) (アクト・シグマ)



アクト・シグマ

- A** Advance [先進的]
- C** CSR [企業の社会的責任]
- T** Top-Line [営業収益]
- Σ** ギリシャ文字の18番目 [総和] [200]

本年4月より、新たな中期経営計画「ACT-Σ」が始動しました。**A**(Advance先進性)、**C**(CSR社会的責任)、**T**(Top-Line営業収益)―各領域の取り組みを強化・拡大することにより、**Σ**(総和)である中長期ビジョンの実現を目指してまいります。

ACT-Σではビジョン実現のための3つの重点方針を掲げています。「グループシナジー」を強化していくことでの収益基盤の拡充、経営資源の戦略的活用による「先進性」の追求、そして高度な「CSR」の実践を目指してまいります。

最終年度の2018年(平成30年)3月期に連結経常利益**200**億円達成を、ギリシャ文字の**18**番目および**[200]**を意味する**Σ**に思いを込めて、現実に向けて邁進いたします。

ACT-Σの重点方針

「グループシナジー」による収益基盤の拡充

MUFGグループとジャックスグループの力を結集し、多様な収益基盤をつくる。

既存事業の革新

海外事業の躍進

新事業の創造・育成

ビジョン

日本を代表する先進的な コンシューマーファイナンスカンパニー



経営資源の 戦略的活用による 「先進性」の追求

マーケティング力を当社の強みへ。
ITを活用し、トップライン拡大と
コスト削減を追求する。

高度な「CSR」の実践

透明で公正な事業活動を通じて、
あらゆるステークホルダーの
満足度を向上させる。

インフォメーション

プロテニスプレイヤー 錦織圭さん起用のTV-CMを制作

～3月24日からオンエア～

平成27年度のイメージキャラクターに、昨年に続きプロテニスプレイヤーの錦織圭選手を起用し、今年3月24日よりTV-CMのオンエアを開始しました。

米国フロリダ州にて撮影された新しいTV-CMは、『未来を変える朝』篇および『のどぐる』篇の2篇です。

CMソングは前作同様、『LOVE PSYCHEDELICO (ラブ サイケデリコ)』とタイアップし、オリジナル楽曲『Love Is All Around』を使用しています。



『のどぐる』篇



『未来を変える朝』篇



新カードのご紹介

杏林堂薬局との提携カードを発行!



スーパードラッグストアを展開する杏林堂薬局と提携し、杏林堂薬局のポイントカード機能を付帯した『杏林堂・JCBカード』ならびに『杏林堂・VISAカード』を昨年11月に発行いたしました。

「杏林堂ポイントカード」機能を付帯していることから、杏林堂薬局各店でご利用の場合は、「杏林堂ポイント」と「杏林堂クレジットポイント」がダブルでたまるほか、国内外のJCBまたはVisa加盟店でご利用いただいても「杏林堂クレジットポイント」が付与されます。なお、「杏林堂クレジットポイント」は「杏林堂ポイント」に交換いただける嬉しい商品設計となっています。



連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当連結会計年度 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産	2,831,720	3,077,959
固定資産	64,684	80,085
有形固定資産	20,446	20,087
無形固定資産	19,648	23,458
投資その他の資産	24,589	36,538
資産合計	2,896,405	3,158,044
負債の部		
流動負債	2,339,788	2,566,193
固定負債	433,903	459,004
負債合計	2,773,692	3,025,198
純資産の部		
株主資本	119,211	124,311
資本金	16,138	16,138
資本剰余金	30,482	30,511
利益剰余金	74,359	79,287
自己株式	△1,768	△1,625
その他の包括利益累計額	3,426	8,396
その他有価証券評価差額金	3,190	6,452
繰延ヘッジ損益	△31	△41
為替換算調整勘定	△8	905
退職給付に係る調整累計額	276	1,080
新株予約権	74	137
純資産合計	122,712	132,846
負債純資産合計	2,896,405	3,158,044

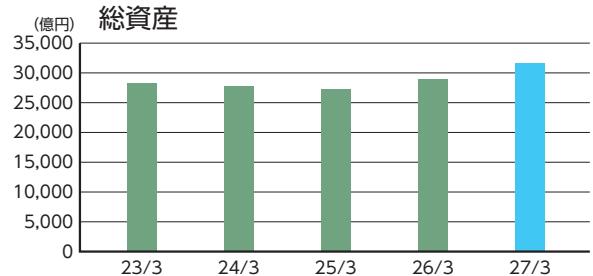
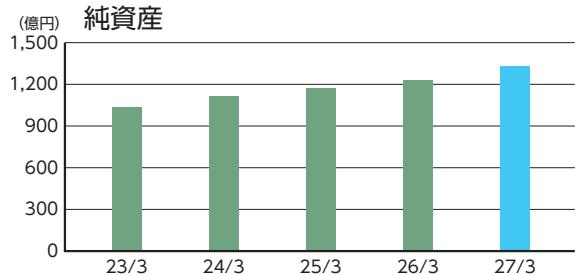
注:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△89,429	△86,683
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,355	△13,942
財務活動によるキャッシュ・フロー	72,821	115,197
現金及び現金同等物に係る換算差額	126	35
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△24,836	14,607
現金及び現金同等物の期首残高	95,720	70,883
現金及び現金同等物の期末残高	70,883	85,491

注:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。





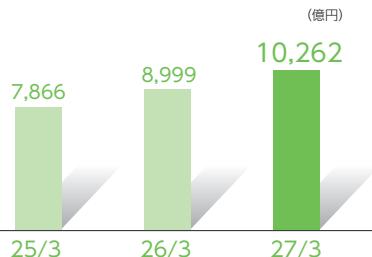
部門別情報



包括信用購入あっせん

取扱高 **1兆262億円**

前期比 **14.0% 増**



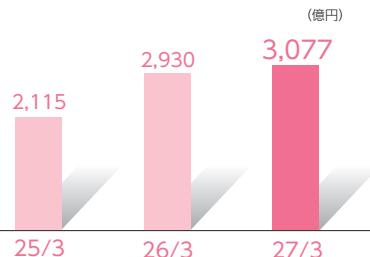
カードショッピングにつきましては、「REX CARD(レックスカード)」をはじめとするポイント還元率の高いカードの取扱高が好調に推移したことに加え、ジャックスロイヤルメンバーズプログラム(前年度の利用金額に応じてさまざまな特典が受けられるサービス)などのプロモーションによる効果が寄与し、取扱高は伸びました。

また、地域に根ざしたスーパーやガソリンスタンドをはじめ、さまざまな分野と提携し、新しいカードを発行してまいりました。

個別信用購入あっせん

取扱高 **3,077億円**

前期比 **5.0% 増**



ショッピングクレジットにつきましては、利用促進策の強化等により消費税増税後の反動減を早い段階で吸収し、取扱高は順調に推移していましたが、第3四半期以降においては、前年の消費税増税前の駆け込み需要の影響を大きく受けた業種もあり、取扱高の伸びは鈍化したしました。

また、Web拡大戦略の一環として、「WeBBy」(インターネット完結型クレジット)の新機能追加により、これまでの審査時間を短縮するなど、事務手続きの利便性向上を図ってまいりました。

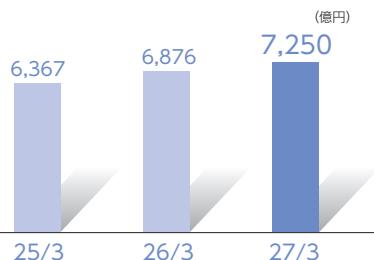
オートローンにつきましては、各販売チャネルごとの施策を実施し、シェアの維持・拡大に努めてまいりました。推進するWeb関連では、「WeBByオート」の機能を追加し、加盟店様の販売システムと連携を可能にするなど新しいサービスの提供を進めてまいりました。

また、新規提携先として、平成27年1月にジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社及びゼネラルモーターズ・ジャパン株式会社と相次いで業務協定契約を締結し、各種ローンプランの取扱いを開始いたしました。

信用保証

取扱高 7,250億円

前期比 5.4% 増



金融機関個人ローン保証につきましては、株式会社三菱東京UFJ銀行のWeb商品をはじめ、地方銀行等との取引拡大により、証書貸付及びカードローンともに取扱高は前年を大きく上回りました。

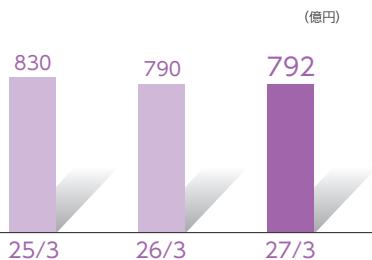
投資用マンション向け住宅ローン保証につきましては、市場の好況感を反映し、好調に推移いたしました。

オートローン保証につきましては、輸入新車をはじめ、国産新車ディーラーや中古車ディーラーとの取引深耕拡大に努めたことから、取扱高は順調に推移いたしました。

融資

取扱高 792億円

前期比 0.3% 増



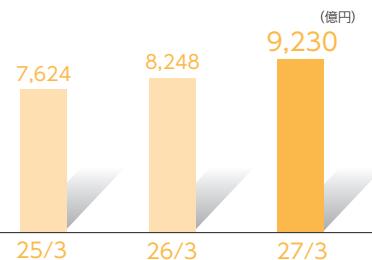
カードキャッシングにつきましては、キャンペーンなどの利用促進策を実施してまいりましたが、取扱高は引き続き減少となりました。

なお、その他の融資が前年を上回ったことから、当部門全体での取扱高はほぼ前年並みとなりました。

その他

取扱高 9,230億円

前期比 11.9% 増



集金代行業務につきましては、家賃関連及びスポーツクラブの会費等順調な取扱高となりました。また、新システム(CYBERシステム)が本稼働したことから、委託者様向けのサービス向上につながりました。

連結子会社におきましては、ジャックスリース株式会社におけるリース事業が営業強化により順調に取扱高を伸ばしました。



株式の状況／会社概要

株式の状況 (平成27年3月31日現在)

発行可能株式総数	394,550,000株
発行済株式の総数	175,395,808株
株主数	(前期末比1,222名減)5,761名
大株主(上位10名)	

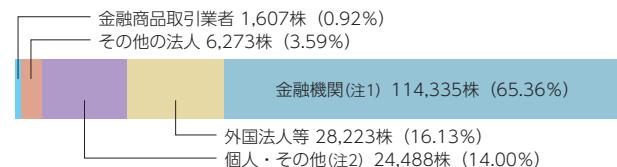
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三菱東京UFJ銀行	35,079	20.27
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	15,397	8.90
第一生命保険株式会社	6,799	3.93
明治安田生命保険相互会社	6,378	3.68
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,015	3.47
ジャックス共栄会	4,528	2.61
ジャックス職員持株会	3,450	1.99
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	2,974	1.71
日本生命保険相互会社	2,940	1.69
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,822	1.63

- (注) 1. 持株比率は、自己株式(2,409,731株)を控除して計算しております。
 2. 自己株式(2,409,731株)には、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(従業員持株ESOP信託口・75579口)が所有する当社株式1,233,000株を加算しておりません。
 3. 持株数及び持株比率は単位未満を切り捨てて表示しております。

株式分布状況 (平成27年3月31日現在)

(単位:千株)

所有者別株式数 (単元株所有者)



- (注1) 金融機関には、投資信託(11,300千株)や年金信託(7,286千株)など信託勘定の株式34,635千株(19.79%)が含まれております。
 (注2) 個人・その他には自己株式2,409千株(1.38%)が含まれております。

所有者別株主数 (単元株所有者)



- (注) 個人・その他には自己名義株式1名が含まれております。

会社概要

商号	株式会社ジャックス
英文社名	JACCS CO.,LTD.
設立年月日	昭和29年6月29日
資本金	161億38百万円
本店所在地	〒040-0063 北海道函館市若松町2番5号 TEL.(0138)26-4136(代)
本部所在地	〒150-8932 東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号 恵比寿ネオナート TEL.(03)5448-1311(代)
従業員数	2,683名(平成27年3月31日現在) (注)従業員数には、出向者等81名、嘱託2名、契約社員207名及び臨時雇用員は含まれておりません。

役員 (平成27年6月26日現在)

取締役社長 代表取締役 CEO兼COO	板垣 康義	上席執行役員	名越 隆博
取締役副社長 代表取締役	杉山 勉	上席執行役員	葛上 章
取締役専務執行役員	小林 秀親	上席執行役員	外口 利夫
取締役常務執行役員	川上 昇	上席執行役員	蓮川 昌博
取締役常務執行役員	菅野 峰一	上席執行役員	小田切 政美
取締役常務執行役員	佐藤 康准	執行役員	根本 雅行
取締役上席執行役員	尾形 茂樹	執行役員	村上 亮
取締役(社外)	神岡 晴夫	執行役員	袖江 信吾
取締役(社外)	原 邦明	執行役員	岸 雅俊
常勤監査役	占部 昭洋	執行役員	山本 和夫
常勤監査役	廣井 隆幸	執行役員	谷口 昇
監査役(社外)	藤崎 三郎助	執行役員	土方 俊幸
監査役(社外)	藤村 啓	執行役員	吉田 宏樹
上席執行役員	大沢 良直	執行役員	羽沢 厚
上席執行役員	千野 仁	執行役員	吉川 毅
上席執行役員	吉野 英雄	執行役員	阿保 敬吾
上席執行役員	大島 健一	執行役員	下河 照和
上席執行役員	山崎 徹		

主な営業拠点 (平成27年6月26日現在)



連結子会社 (平成27年6月26日現在)

ジャックスリース(株)

■事業内容：リース業務、オートオークション出品代行業務

ジャックス・トータル・サービス(株)

■事業内容：損害保険・生命保険の保険代理店業、通信販売、当社什器・備品のリース

ジャックス債権回収サービス(株)

■事業内容：「債権管理回収業に関する特別措置法（サービサー法）」に基づくサービサー業、当社貸倒償却債権の回収業務の受託

ジャックス・ペイメント・ソリューションズ(株)

■事業内容：集金代行・後払い決済業務

JACCS International Vietnam Finance Co.,Ltd. (略称 JIVF)

■事業内容：二輪車ローン

持分法適用関連会社 (平成27年6月26日現在)

PT Mitra Pinasthika Mustika Finance. (略称 MPMF)

■事業内容：二輪・四輪車ローン

1株当たりの配当金の推移は以下のとおりです。

(単位：円)

	中間	期末	年間
第84期 (平成27年3月期)	7	7	14
第83期 (平成26年3月期)	6	8	14
第82期 (平成25年3月期)	5	6	11

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所、札幌証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。(当社ホームページに掲載) ※やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、 日本経済新聞に公告いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

株式に関するお手続きについて

特別口座に記録された株式

お手続き、 ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> 特別口座から一般口座への振替請求 単元未満株式の買取(買増)請求(注1) 住所・氏名等のご変更 特別口座の残高照会 配当金の受領方法の指定(注2) 	特別口座の 口座管理 機 関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿 管 理 人	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【手続き書類のご請求方法】</p> <p>▶音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料)</p> <p>▶インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufig.jp/daikou/</p> </div>

- (注1) 買取(買増)請求に係わる手数料は[無料]とさせていただきます。
 (注2) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はご選択いただけません。

証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、 ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> 上記以外のお手続き、ご照会等 	口座を開設されている証券会社等	お問合せ ください。

今後の見通しに関する注意事項

本誌の記載内容のうち、当社の将来に関する見通しおよび計画などの歴史的事実でないものについては将来予測であり、現在入手可能な情報から得られた会社の判断に基づいています。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素が含まれており、実際の成果や業績などは、記載の見通しとは大きく異なる可能性があります。

当社ホームページをご覧ください。

- 新商品の紹介
 - ニュースリリース
 - トピックス
 - IR情報
- などを掲載しております。
ぜひご覧ください。



URL <http://www.jaccs.co.jp/>

ジャックス公式フェイスブック



ジャックスの最新情報やみなさまの暮らしのためのお役立ちコラム、そして日常がちよっと楽しくなるような情報をお届けします。お楽しみに！

みなさまからの「いいね」をお待ちしています！

株式会社ジャックス

本部 〒150-8932
東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号 恵比寿ネオナート
TEL 03-5448-1311(代)

UD FONT
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

